



第26週の発生動向(2004/6/21~2004/6/27)

- 1 咽頭結膜熱については、先週に引き続き、弘前、むつ保健所管内で**警報**が出されています。
- 2 ヘルパンギーナについては、特に弘前保健所管内で増加傾向にあり注意が必要です。

第26週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(60) 咽頭結膜熱	4	0.50	4	0.40		0.00	2	0.40	5	0.83	4	1.00	19	0.45	4
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.50	12	1.20	5	0.56	1	0.20	10	1.67	5	1.25	37	0.88	-16
(62) 感染性胃腸炎	25	3.13	26	2.60		0.00		0.00	9	1.50	7	1.75	67	1.60	-15
(63) 水痘	15	1.88	13	1.30	30	3.33	10	2.00	13	2.17		0.00	81	1.93	6
(64) 手足口病		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	-2
(65) 伝染性紅斑	3	0.38		0.00	1	0.11	1	0.20	1	0.17		0.00	6	0.14	-3
(66) 突発性発疹	2	0.25	3	0.30	5	0.56	2	0.40	4	0.67	4	1.00	20	0.48	-3
(67) 百日咳		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(68) 風疹		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(69) ヘルパンギーナ	2	0.25	41	4.10	2	0.22		0.00	3	0.50	11	2.75	59	1.40	24
(70) 麻疹(成人を除く)		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(71) 流行性耳下腺炎	3	0.38	4	0.40	10	1.11	1	0.20		0.00	2	0.50	20	0.48	-10
(73) 急性出血性結膜炎		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	1	0.50	2	2.00		0.00		0.00	5	0.45	3

	定点数			
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

■ は注意報、■ は警報です。 「空欄」: 患者発生数0

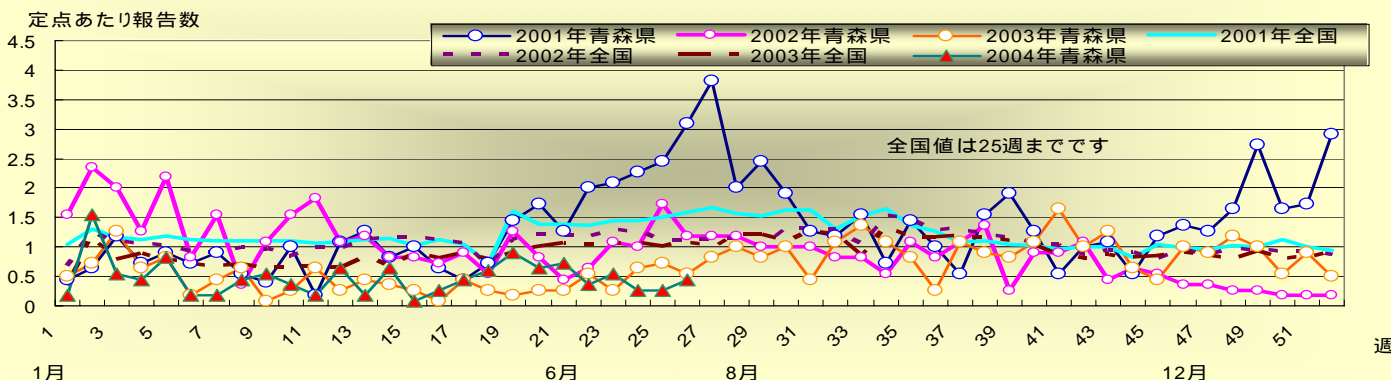
表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

- (22) Q熱(四類全数把握疾患) 五所川原保健所管内 1人 (16年計 1人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 五所川原保健所管内 1人 (16年計 4人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類定点把握疾患) 八戸保健所管内 4人 (16年計 62人)

感染症の窓

流行性角結膜炎

過去3年間の全国及び青森県の推移



- 病原体 DNA型ウイルスであるアデノウイルスが原因で主に流行する血清型は8、19、37、4型です。
- 臨床症状 眼脂(めやに)、流涙、結膜充血、眼瞼腫脹など眼を中心とした疾病です。
- 好発時期 6月~10月ですが、特に8月を中心として夏に見られます。
- 発生状況 本県の過去3年間の発生状況を見ると、2001年の8月に大きな流行が見られています。
- 感染予防 眼疾患患者の分泌物(眼脂、涙液)で汚染された指やタオル類からの接触によって感染しますのでタオルの使いまわしをしないようにしましょう。また、手洗いを十分に行うことが大切です。